

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 更生慈仁会コスモス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の充実を図っていく。 ・精神的、身体機能を最大限に伸ばし、QOLの質を高め、社会生活を有意義に過ごせるように努めている。	身体的特徴に留意し、リハビリなどを行っている。 五感を刺激する活動内容の取り組みをおこなっている。 選択できる、役割が持てる支援内容に留意している。	身体的特徴を捉え、発達に合わせて活動の組み立てを行っていく。 活動内容の目的を明確にして取り組みを行っていく。
2	利用日は、毎回入浴できる。	ご家族からの要望が多くなっている。 意向に沿う為にも希望時には、入浴支援を行っている。	今後もニーズが増すと予想される。 可能な限り、ご希望に寄り添えるようにしていく。
3	長期休みの利用時間は延長が可能。コスモス利用後に同法人施設を利用することが可能(日中一時、短期入所)。 以下のメリットがある。 ①施設間同士、情報共有しやすい、送迎もコスモスとなる為、ご家族の負担の軽減につながる。②情報伝達と、ご利用者の周知が行いやすい為、統一した支援が受けられる。	ご利用時間に応じた居場所へ滞りなく移動が出来て、情報伝達をしっかりと行っている。	今後も、ご利用者が安心して利用できるように、同法人施設の利用時は些細な事でも、情報共有していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハード面での問題 ・ワンフロアになっており、個別対応が難しい	感染対策時や、ご本人の体調が落ち着かない時などの対応場所がない。	ハード面で工夫する必要がある。 ・エリア分けをする ・脱衣場を利用するなど工夫している。 以上に考慮し、落ち着いた環境で過ごせるようにする。
2	生活介護、放課後等デイサービスのご利用者10名がワンフロアで過ごしている。	ハード面での問題として、個別対応が難しい。	エリア分けをして、落ち着いて過ごせる環境作りに留意している。 年代層が異なる利用者の方たちと過ごせる為、集団生活や社会性などを学べる環境でもある為、活動に取り入れていく。
3	ご利用者の発達に合わせての支援が出来ているのか不明なところがある。	環境作りが難しい。 個別部屋の対応が出来ない。	エリア分けをして、落ち着いて過ごせる環境作りに留意する。 児童発達状況などの知識を要する為、職員のスキルアップが重要である。研修会に積極的に参加する。